



## 株式会社 加藤研削工業

切削工具や機械刃物の再研削を通して日本のものづくりを支えています。

「切削工具・機械刃物」と聞いて、ピンとくる方はほとんどいないのではないのでしょうか。木材や建材などの大型の材料、カット野菜や米菓など量産される食品、金属や樹脂など...多岐にわたる素材や部品の切断や加工に使われる部品で、さまざまな製造現場で目にすることができます。株式会社加藤研削工業は、この切削工具・機械刃物が摩耗して使いにくくなった時に、再使用できるよう再研削を施したり、性能の高いオーダーメイド品に作り変えたりと工具のメンテナンスを行う会社です。

家具、食品、金属加工品など製造ジャンルごとにメイン顧客を抱える同業他社が多い中、部品一個から丁寧に対応することでジャンルを問わず顧客からの厚い信頼を獲得してきた同社。社員数16人と少数精鋭ですが、新潟県内を中心に全国に約650社もの顧客を抱えています。2007(平成19)年には、独自に技術開発を重ねてきた「不等ピッチメタルソー再研磨サービス」※を10年の試行錯誤の末に確立。全国でも数社しか扱っていないこの技術で、県外からの受注件数も徐々に増えています。

差別化を図ることが難しく価格競争に陥りがちな切削工具・機械刃物の再研削業界で、独自技術による新しいポジションの確立に奮闘。国家資格「切削工具研削技能士」の育成を通して、業界全体の技術力UPにも力を入れます。株式会社加藤研削工業は、東区から日本のものづくり産業を支える再研削のスペシャリストです。

※メタルソーとは、金属でできた円盤状のノコ刃のこと。



10年かけて確立した  
独自技術

選定ポイント

日本のものづくりを  
影から支える

「地域あつての自分たち」  
を忘れない



## 株式会社 加藤研削工業の想い

独自技術を磨いて、唯一無二のメンテナンス業者になりたい。

—仮説と検証を繰り返して確立した独自技術で、顧客を増やしています。

一般的に売られている規格化されたメタルソーの刃は等間隔に並んでいます。この刃を切る素材との相性に合わせて不均等にすると「びびり振動※」が起きにくくなり、刃の寿命が伸びたり作業効率が向上します。ただ、用途に合わせた調節には専用の機械と専門技術が必要で、手間も多くあまり普及していないんです。ですが、当社はこの技術に手応えを感じて初回無料お試しと1個からのオーダーメイド対応を始めました。差別化が難しく先細りしていくこの業界に、新たなスタンダードを作りたいと考えています。

※金属を金属で削る際に発生する異常な振動。「加工表面が荒れる」「騒音が発生する」「刃の寿命が短くなる」などの支障をきたす。



—東日本大震災の復旧サポートに、当社の技術力が役立ったと喜ばれました。

西日本の建材メーカーの話です。東日本大震災の後、被災地の復旧工事が急務となり足場に用いられる鉄パイプの単管がたくさん必要になりました。24時間フル稼働しても対応しきれない数の注文がきて悩んだときに、当社の不等ピッチメタルソーを思い出したんだそうです。びびり振動が起きにくいという利点を信じて生産速度を最高まであげるよう現場に伝えたところ、切るスピードが通常の3倍に！「導入していて良かった、助かった」と言ってくれました。間接的にはありませんが、当社の技術で震災復興に貢献できたと感じましたね。



### 一少人数でもできる地域貢献をと考え、季節ごとにゴミ拾いをしています。

経営理念の一つに「全従業員の物心両面の幸福を追求する」というものを掲げています。従業員の満足のためには当社が操業を続ける必要があります、操業を続けるには地域に受け入れてもらわなければなりません。そこで、地域に対する貢献をできることから始めようと考え、5年ほど前（平成26年）から年に4回のゴミ拾いを実施。社屋が面している道路の新潟パイパスまでの約600mは、以前より随分きれいになったんですよ。



### 一日本のものづくりを下支えしている自負を持って、これからも邁進します。

切削工具・機械刃物の再研削業は非常にニッチな業界で、認知度が低く人材確保も難しいのが現状です。しかし、日本の製造技術の底上げに大きく貢献しうる大きな可能性を持った技術です。当社はこれからも業界レベルの底上げを図りつつ、日本のものづくりを支える企業であり続けたいと思います。



## 株式会社 加藤研削工業

1966（昭和41）年創業。主要事業は、機械刃物、木工刃物、切削工具などの再研削とコンサルティング。独自開発した「不等ピッチメタルソー再研磨サービス」をきっかけに全国展開を果たし、日本のものづくりを支えている。

住所：〒950-0821 新潟市東区岡山1282

電話：025-271-7144

ホームページ：<https://www.kato-kk.net>



令和元年度グッドカンパニー掲載企業